

認知症について

認知症をむやみに恐れる必要はありませんが、誰もがかかり得る身近な病気でもあります。
認知症を正しく理解していただき、あらかじめ知っておいていただきたい情報をお届けします。

「認知症」と単なるもの忘れは違います

年を重ねると誰でも、思い出したいことが思い出せないなど、新しいことを覚えるのが困難になってきますが、「認知症」は、このような「加齢による物忘れ」とは違います。

認知症の記憶障害

- ・もの忘れを自覚できない
- ・体験したこと自体を忘れる
- ・日付、季節がわからなくなる
- ・ヒントを出しても思い出せない

もの忘れ

- ・もの忘れを自覚できる
- ・体験したことの一部を忘れる
- ・日付、季節を間違えることがある
- ・ヒントを出すと思い出す

食事をしたこと
自体を忘れる



数日前に食べた食事の
メニューを忘れる

早めの受診が大切です

“認知症は治らない病気だから仕方がない”

これは誤った考えで、**全てがそうではありません**

◆ 治せる認知症なら治癒が可能です

例えば・・・正常圧水頭症、脳腫瘍などは、手術で良くなることがあります

薬の影響による症状は薬の中止や調整によって良くなる場合があります

◆ 治せなくても進行を遅らせることが可能です

例えば・・・アルツハイマー型認知症なら、薬の服用で進行を遅らせられる場合があります

脳血管性認知症なら、脳血管の病気の再発を防げば、進行を止められる場合があります



認知症を早期に発見するために



認知症の初期症状に気づくために注意したい「変化」

- 現在と以前（1～2年位前）の様子とを比べてください。
- 家族の方が、本人の普段の様子を見て、チェックしていただいてもよいでしょう。

もの忘れ

- さっき聞いたことが思い出せないことがある
- 約束や予定を忘れてしまうことがある
- 日常的に使うものを置いた場所がわからなくなることがある
- 電話に出ても、誰からの電話だったのか、どのような用件だったのか忘れてしまうことがある



判断力や理解力

- 料理や家の整理に以前よりも時間がかかるようになった
- 仕事上の失敗が多くなった
- 町内の役員や役割がうまくできなくなった



体やこころ

- 頭がボーっとする。または、ボーっとしている時間が多い。
- 同じこと（家事や趣味など）をしているのに疲れるようになった。
- 好きだったこと（趣味やテレビ番組など）に関心がなくなった。
- 何をするのも億劫に感じる。
- イライラしたり、怒ることが多くなった。



まずはかかりつけ医に相談を！

医療機関や相談窓口で相談しましょう

チェック項目にいくつか思い当たることがあるなど、他に心配になるようなことがあれば、かかりつけ医や認知症相談医のいる医療機関、地域包括支援センターなどに相談をしてみましよう。

認知症サポート医は、滋賀県のホームページで公開されています。

滋賀県認知症相談医

検索

